

多色系サイディングボード用 透明コート材

セブンサイディングUVバリア



美観性と高耐久・耐候性
その両方を実現する高密着透明塗膜

 **セブンケミカル**

〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12階
TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598
<https://www.seven-chemical.co.jp>

SUVB202312

 **株式会社 セブンケミカル**

クリアだから、美しい。 高密着だから、美しさが続く。

美観性と高耐久・耐候性を両立させた高密着透明塗膜です。

意匠性の高いサイディングの美しさをキープしつつ、

紫外線をはじめとする外的要因からしっかりガードします。

特徴



高耐久

塗膜を侵食するラジカルを制御、紫外線による劣化から塗膜を守ります。下地への付着性も高いので、長期間、退色やひび割れ等から外壁を保護できます。



耐汚染

雨水等による汚れが付着しにくい塗膜表面が、建物の美観を保ちます。



美観

サイディングボード表面の意匠性をそのまま生かすクリアトップコート。高級感に「キレイ」をプラス。



環境対応

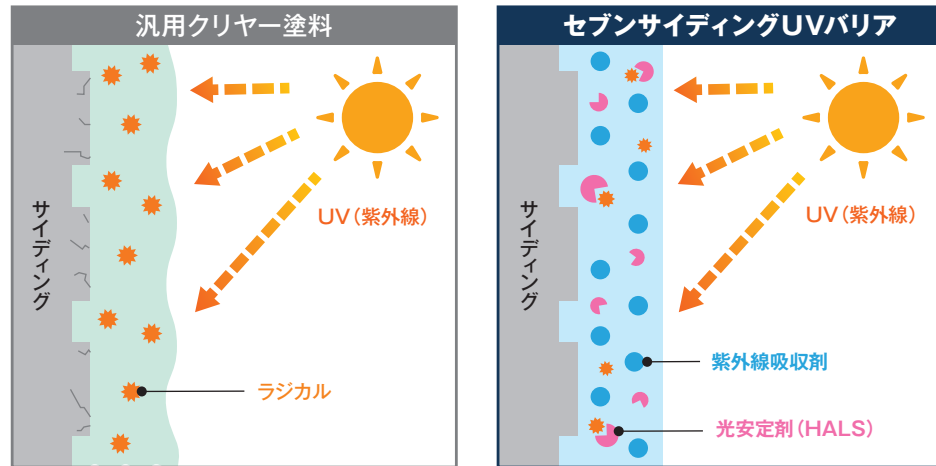
オール水系システムで、取り扱いが容易。安全性の高い環境対応型コーティング材です。



高い耐久性・耐候性

高耐候性のメカニズム

従来品塗膜の表面は、太陽光の照射により、塗膜を侵食するラジカルが発生し、劣化していきます。セブンサイディングUVバリアは、紫外線吸収剤と光安定剤を配合、ラジカルの発生を制御し、塗膜の劣化を防ぎます。

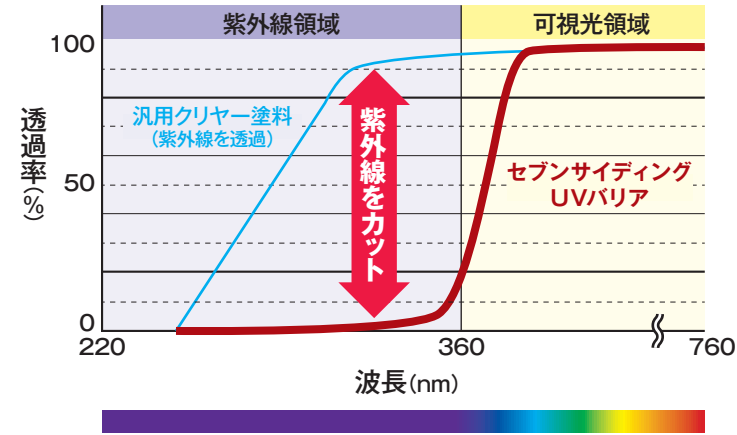


太陽光の照射により、ラジカルが発生。その影響で塗膜が劣化してしまいます。

紫外線吸収剤が塗膜を侵食するラジカルを制御。光安定剤 (HALS) が発生したラジカルをキャッチすることで、塗膜の劣化を抑制します。

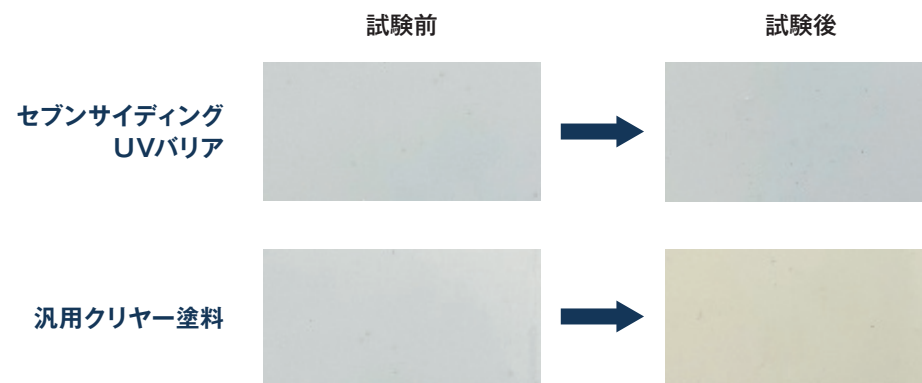
紫外線カット機能

人体に悪影響をおよぼす紫外線(波長領域295~380nm)は、塗膜にも同様の悪影響を及ぼします。セブンサイディングUVバリアは、この波長領域の紫外線の透過を減らすことで、塗装面の劣化を抑制しています。



耐候性試験

強紫外線を1000時間照射し、耐候性と光触媒コーティングサイディングボードへの適用性を試験しました。他社同等塗材に比べ黄変が無く、高耐久であることが確認できました。

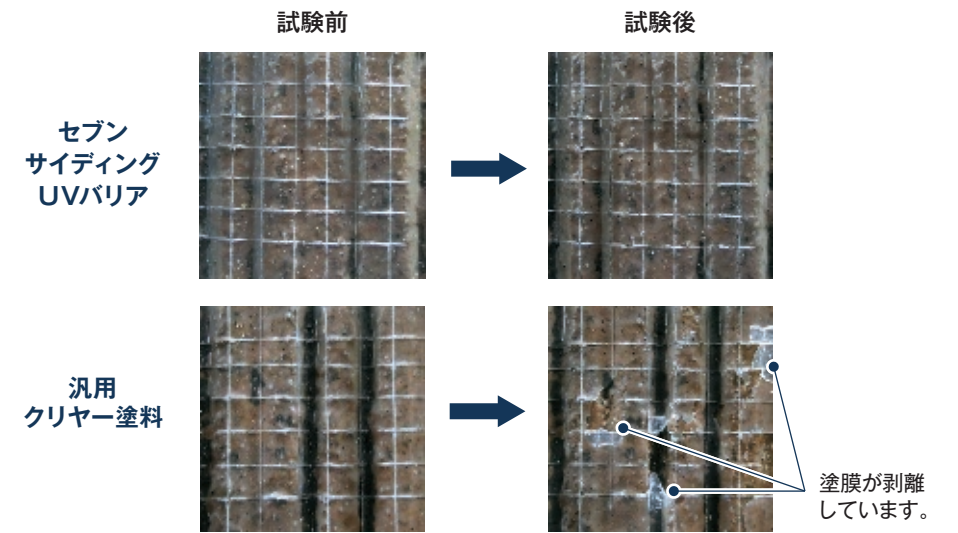


高付着性

従来、光触媒コーティングを施したサイディングは、剥離等の塗膜劣化を促進させてしまうため、クリア塗装は避けるべきとされていました。セブンサイディングUVバリアは、紫外線カット機能を採用したことで、光触媒サイディングボードにも高い付着性を実現。触媒作用を抑えながらサイディングの表面を長期間に亘って保護します。

付着力試験

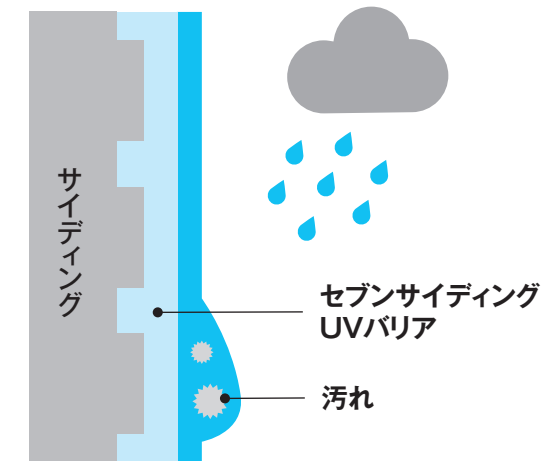
他社同等品は剥がれが確認できます。当社の塗膜は剥がれが無く、紫外線を照射しても光触媒サイディングボードでも安定した付着性を確認できました。



低汚染性

塗膜表面に付着した汚れを雨が浮かせてそのまま流します。厄介な外壁メンテナンスの負担を軽減しつつ美観をしっかり保ちます。

雨の力で汚れを洗い流す



主な改修塗装仕上げの品質

<評価> ○:良 △:やや良 ×:不良

	セブンサイディングUVバリア (水系アクリルシリコン樹脂)	他社品 (弱溶剤系アクリルシリコン樹脂)
環境負荷低減	○	×
窯業系サイディングボード	○	○
光触媒サイディングボード	○	×
焼付フッ素サイディングボード	△ ^{※1}	×

※1:難付着の場合に使用できる水性シーラーもございます。お問い合わせください。



高意匠・美観

美しさ、長続き。

高耐久のクリア塗装で、サイディングの高級感そのままに。

従来の単色塗料ではどうしても犠牲になりがちだった意匠性を損なうことなく、外壁を保護します。



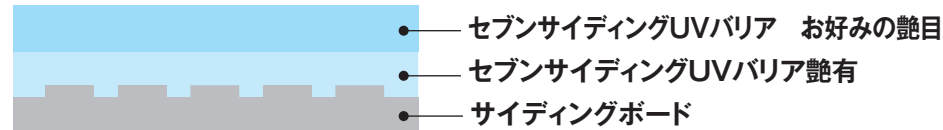
単色塗料で塗りつぶすと、せっかくの高意匠が台無しに。



クリアトップコートのため、サイディングの意匠性を活かしたまま外壁を保護できます。

ツヤ感、思いのまま。

セブンサイディングUVバリアは、艶有・半艶・艶消の3つのラインナップをご用意しています。明るい光沢から落ち着いた印象まで、施主様のお好みに合わせてお選びいただけます。



環境にも配慮した水系システム

セブンサイディングUVバリアは2液型水性塗材。2液型ならではの高い密着性で強靱な塗膜を形成しつつも有機溶剤のような刺激臭がなく、人体や環境への負荷が少ないので、密集した住宅地などでの施工も安心です。温室効果ガスの発生も溶剤系と比べて小さく、優れた環境配慮型の塗材となっています。



仕様

工程	使用材料	混合比 (基材:硬化剤)	所要量(kg/m ²)	工程間隔(時間)	施工器具
1 下塗り	セブンサイディングUVバリア(艶有)※	10:1	0.1~0.12	3~24以内	中毛ウールローラー 刷毛
2 上塗り	セブンサイディングUVバリア (艶有・半艶・艶消)	10:1	0.1~0.12	24以上	中毛ウールローラー 刷毛

※ 下塗りを塗布した際に弾く場合は、弊社までご連絡ください。

荷姿

種類	製品名	容量	荷姿	備考
下塗材	セブンサイディングUVバリア(艶有)	11kg	石油缶	2液型水系 アクリルシリコン樹脂
		3.3kg		
上塗材	セブンサイディングUVバリア(艶有)	11kg	石油缶	
		3.3kg		
	セブンサイディングUVバリア(半艶)	11kg	石油缶	
		3.3kg		
	セブンサイディングUVバリア(艶消)	11kg	石油缶	
		3.3kg		



施工方法

- (1) 下塗り(セブンサイディングUVバリア 艶有)
- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行ってください。
 - ② セブンサイディングUVバリア基剤/硬化剤を10:1で清浄なハンドミキサー等で均一に混合します。希釈が必要な場合は水道水で0~10%(重量比)希釈したのち、清浄なハンドミキサー等で均一に混合してください。
 - ③ 混合量は可使時間(約2時間)以内に使い切る量としてください。
 - ④ 中毛ウールローラー塗りにより、塗り残し・塗り継ぎムラの生じないように均一に所要量を塗り付けてください。吸い込みが多い部分は、乾燥後2回塗布してください。(下地、サイディングボードの柄・模様などの状態により異なる場合があります。)
- (2) 上塗り(セブンサイディングUVバリア 各艶)
- ① セブンサイディングUVバリア 艶有の乾燥硬化(乳白色から透明)を確認後、上塗り工程を行ってください。
 - ② セブンサイディングUVバリア(半艶・艶消)の基剤中に配合してある艶消剤が缶底や縁に沈降し、層状態になっている場合もあります。十分に攪拌してください。
 - ③ 基剤/硬化剤を10:1(重量比)、0~10%水道水で希釈し清浄なハンドミキサー等で攪拌混合してください。(基剤の混合では別缶への空け替えをお勧めします)
 - ④ 混合量は可使時間(約2時間)以内に使い切る量としてください。
 - ⑤ 中毛ローラーにより、塗り残し及び塗りムラなどのカスレが生じないように塗り付けてください。セブンサイディングUVバリアの塗り残し、及びカスレ部分は塵埃等により経年で黒く汚れてくる場合があります。

施工上の注意

- 複数日にまたがって施工をする場合には予め目地などで見切り養生を行い、塗装ムラがおきないように施工をしてください。
- 2液型の塗料ですので、必ず計量器を使用し、規定量を混合し十分に攪拌してください。
- 本製品は透明仕上げの為、汚れたローラーやハンドルなどの道具は使用しないでください。
- 材料は直射日光や降雨を避け、必ず5℃以上の屋内冷暗所に保管してください。
- 一度透明になっても塗り付け後に短時間で降雨が当たると、塗膜が吸水し白濁と透明を繰り返す場合があります。
- 塵埃や付着異物などは安全性の高い洗浄剤等で除去し、その後は十分に高圧洗浄で洗い流してください。
- カビや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り剤やアルコール液で殺菌してください。
- 水洗後は下地を十分乾燥させてください。
- 他社製品が施工されている上に本製品を施工する場合、必ず目立たない場所でテスト施工して確認してください。
- 攪拌機、ローラー等は施工箇所を考慮して適切なものをご使用ください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って洗い流してください。目に入った場合は水道水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。また、SDSを参照してください。
- 施工終了後、24時間は降雨の掛からぬように養生してください。

施工条件

- ① 外気温が5℃以下での施工は避けてください。塗膜の乾燥性、ローラー作業性、及び仕上げ性に支障をきたす場合があります。
- ② 材料の乾燥硬化の過程で結露・霧・雪・霜等が予想される場合は施工を避けてください。
- ③ 風速5m/sec以上の時は、塗材の飛散被害・塗付けムラやゴミの付着等の支障をきたしますので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
- ④ サイディングボードに破損・欠損や反り、またひび割れの程度が悪く補修が難しい場合には、あらかじめサイディングボードの張替えなど適切な補修をしてください。
- ⑤ シーリング材が劣化していて補修が必要な箇所は打ち替えを行ってください。シーリング材の打ち換え後は十分乾燥させた後、シーリング材の上は養生するか、見切るなどして塗装は避けてください。